

研究区分	教員特別研究推進（教育推進）
------	----------------

研 究 テーマ	対話型鑑賞は歯科衛生士のネガティブケイパビリティを育むか				
研究組織	代 表 者	所属・職名	短期大学部 歯科衛生学科 ・准教授	氏名	金山 圭一
	研究協力者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	短期大学部 歯科衛生学科 ・准教授	氏名	金山 圭一

講演題目
歯科衛生士養成過程でのアートベース教育の実践
研究の目的、成果及び今後の展望
歯科衛生士には多職種連携や患者の全身状態の把握など、診療補助にとどまらない汎用的な能力が求められている。しかし現状の歯科衛生士教育は資格取得のための学修に偏っている。特定のスキルの習得でなく汎用的な能力の根幹には、豊かな人間性が必要となる。研究代表者は豊かな人間性の涵養に教育的な効果のあるプログラムとしてアートベース教育に注目し、歯科衛生士学生を対象にアート作品を用いたプログラムを実施した。 歯科衛生学科1年生と2年生(82名)を対象とした。必修科目の時間内にアートカードを使ったペアワーク（ブラインドトーク）やグループワーク（作品を繋いで物語を作る、4コマアート）を行った。終了後に各自が記載した振り返りシートの内容を分析した。振り返りシートには、今日のワークを終えて気づいたことわかったこと感想を自由に記載してもらった。 自由記述回答を逐語的に収集し、意味内容の類似性に基づいてコード化し、コードを統合してカテゴリーを形成した。「コミュニケーションの難しさと工夫」「多様な解釈と価値観の存在」「協働から生まれる学びと関係性」「自己省察と課題の発見」などのサブテーマが同定された。 アートワークを通じて、学生は「コミュニケーションの難しさ」と「多様な解釈と価値観の存在」を体感した。これらの体験から、協働の意義、自己の課題、など学びが得られた。